

# 令和5年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	総合計画の在り方検討に向けた取組(基礎調査)		
予算額	1,500 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	市長公室 政策企画調整担当(222-3035)		
<p><b>[事業実施に至る経過・背景など]</b></p> <p>1 現行の総合計画の体系 本市は、昭和53(1978)年に、市会の賛同を得て宣言した「世界文化自由都市宣言」をあらゆる政策の最上位の都市理念に位置付けている。この宣言に基づき、21世紀最初の四半世紀におけるグランドビジョンとして、「安らぎのある暮らし」と「華やぎのあるまち」という目標と、「信頼」を基礎に社会の再構築をめざすというまちづくりの方針を理念的に示す「京都市基本構想」を平成11(1999)年に市会の議決を得て策定した。 「京都市基本計画」はこの基本構想を具体化するため、全市的観点から取り組む主要な政策を示す計画であり、これまで3期にわたる計画を策定している。(別紙「京都市の総合計画の体系」参照)</p> <p>2 現行総合計画の点検と次期総合計画の在り方検討 「京都市基本構想」及び第3期の「京都市基本計画」が令和7年末に終期を迎えるに当たり、現行の総合計画の点検を行う。 また、地方自治法の一部を改正する法律(平成23年法律第35号)により、「基本構想」の策定義務規定が廃止されたことを踏まえ、「基本構想」を含む次期総合計画の在り方について検討する。</p>			
<p><b>[事業概要]</b></p> <p>令和5年度は、各種統計データの分析、市民アンケート調査、有識者からの意見聴取等により、現行総合計画の点検と次期総合計画の在り方検討を行う。</p> <p>&lt;現時点のスケジュール(案)&gt; 令和5年度 : 現行総合計画の点検、次期総合計画の在り方検討 令和6年度以降: 審議会を設置し、次期総合計画の具体的な内容を検討</p>			
<p><b>[参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]</b></p>			

# 京都市の総合計画の体系

都市理念（都市の理想像）

## 世界文化自由都市宣言

市会の賛同を得て昭和 53（1978）年 10 月 15 日宣言

都市は、理想を必要とする。その理想が世界の現状の正しい認識と自己の伝統の深い省察の上に立ち、市民がその実現に努力するならば、その都市は世界史に大きな役割を果たすであろう。われわれは、ここにわが京都を世界文化自由都市と宣言する。

世界文化自由都市とは、全世界のひとびとが、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由につどい、自由な文化交流を行う都市をいうのである。

京都は、古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるが、今日においては、ただ過去の栄光のみを誇り、孤立して生きるべきではない。広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。われわれは、京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。

もとより、理想の宣言はやさしく、その実行はむずかしい。われわれ市民は、ここに高い理想に向かって 進み出ることを静かに決意して、これを誓うものである。

市政の基本方針

## 京都市基本構想（グランドビジョン）

21 世紀の京都のまちづくりの方針を理念的に示す長期構想

<2001（平成 13）～2025（令和 7）年>

市会の議決を得て平成 11(1999)年 12 月 17 日策定

部門別計画

地域別計画

## 京都市基本計画

基本構想の具体化のために全市の観点から取り組む主要な政策を示す計画

### 京都市基本計画（第 1 期）

<平成 13(2001)～平成 22(2010)年>

### はばたけ未来へ！ <sup>みやこ</sup>京プラン

### 京都市基本計画（第 2 期）

<平成 23(2011)～令和 2(2020)年度>

### はばたけ未来へ！ <sup>みやこ</sup>京プラン 2025

### 京都市基本計画（第 3 期）

<令和 3(2021)～令和 7(2025)年>

## 各区基本計画

基本構想に基づく各区の個性を生かした魅力ある地域づくりの指針となる計画

### 各区基本計画（第 1 期）

<平成 13(2001)～平成 22(2010)年>

### 各区基本計画（第 2 期）

<平成 23(2011)～令和 2(2020)年度>

### 各区基本計画（第 3 期）

<令和 3(2021)～令和 7(2025)年>

分野別計画・行財政改革の計画・毎年度予算